

感染症情報 8月8日～14日

府下小児科201医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	555例(堺市 22例)
②おたふくかぜ	356例(堺市 19例)
③ヘルパンギーナ	244例(堺市 8例)
④溶連菌感染症	209例(堺市 14例)
⑤咽頭結膜熱	99例(堺市 1例)

が報告された。

感染症報告数は祝日(山の日)や盆休もあったため、全体として前週より26.5%減少した。第1位は感染性胃腸炎で、第2位がおたふくかぜ、第3位がヘルパンギーナであった。感染性胃腸炎は報告総数の減少率とほぼ同じ26%減少であったが、おたふくかぜは10%しか減少していなかった。堺市でも、おたふくかぜの報告数は前週18例から今回19例の横ばいである。ヘルパンギーナは府下全体では前週と比較して42%減、堺市では68%減であり、終息しかけであろう。5位の咽頭結膜熱は前週111例であり、急に増えているわけではない。

はしか、風疹の報告はなかった。

猛暑日が続いているので、熱中症にかからないよう、適度にエアコンを使用し、こまめに水分補給をしてほしい。

先週分の報告で

期間が8月1日～8日は正しくは8月1日～7日で、

堺市の報告数は

	誤	正
①感染性胃腸炎	31例	→ <u>30例</u>
②ヘルパンギーナ	81例	→ <u>25例</u>
③おたふくかぜ	30例	→ <u>18例</u>
④溶連菌感染症	21例	→ <u>19例</u>
⑤突発性発疹	5例	→ <u>14例</u>

でした。

お詫びして訂正します。